2022 年度秋学期派遣
立命館アジア太平洋大学（APU）
国内交流プログラム募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（APU）は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

交流学生プログラムは、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）に半年あるいは 1 年間「特別聴講生（交流学生）」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です（秋学期派遣は半年のみ）。立命館アジア太平洋大学での勉学および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

※2022 年度の交流学生プログラム派遣は下記の通り募集を行いますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、プログラム実施形態の変更（現地派遣→オンライン派遣に変更）または実施の中止等の判断を行う場合があります。予めご了承ください。

Ⅰ．プログラム概要

１．本プログラムの目的

（１） 双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
（２） 双方の学生交流の促進

２．期待される APU での学習効果

（１） 英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
（２） 国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
（３） 上記の能力向上により海外留学の準備

３．派遣期間

秋学期（2022 年 9 月 26 日～2023 年 3 月 31 日）

４．募集人数

10 名

５．派遣先学部

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）

６．派遣中の立命館大学での学籍状態

留学

７．APU での身分

特別聴講学生

８．単位認定

単位取得した科目のみ以下の通り T 評価で認定します。(F 評価は認定しない)

・同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定（T）。
・同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（T）。ただし総合心理学部生は「APU 交流科目」での単位認定は不可。
・修得した単位は 2022 年度秋学期の修得単位として認定されます

９．単位認定の上限

APU での登録単位数と立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります

派遣期間	APU での受講登録上限単位数(目安)	立命館大学での単位認定上限単位数
秋学期	所属学部・回生の年間受講登録上限単位数の半数 あるいは 所属学部・回生のセメスター受講登録上限単位数	60 単位以内※

※ 単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで 60 単位以内です（編入学、転学等を除く）。特に、過去に海外留学を終えて単位を認定されたことのある方は注意をしてください。

１０．学費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。また、社会人学生授業料納入特例措置を受けている場合については、継続して特例措置を受けることができます。

１１．履修可能科目

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）の 2017 年度カリキュラムの科目が履修可能です。基本的にはすべての開講科目が履修できますが、以下の通り、履修できる科目に制限があります。

【履修不可科目】

APS･APM 共通	スタディスキル＆アカデミックライティング
	多文化協働ワークショップ
	APS 入門
	ピアリーダートレーニング入門
	ブリッジプログラム
	一部の事前申請科目
APM	グローバルマネジメント (Capstone)
APS	調査・研究入門
	基礎演習（環境・開発）
	基礎演習（観光学）
	基礎演習（国際関係）
	基礎演習（文化・社会・メディア）

【その他履修制限】

① 英語の言語クラス
スタンダードトラックの専修英語科目のみ受講可能。

② アジア太平洋言語（AP 言語）
中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の 6 言語を開講。定員に空きがある場合のみ、受講可能。

③ 当該学生の母語である言語科目
履修不可

④ 英語で開講される専門科目の受講
受講可
（目安として、TOEFL ITP®テスト 480 点相当以上の言語運用能力を想定して授業が行われる。）

⑤ セッション科目（集中講義）
春学期派遣は夏セッションのみ、秋学期派遣は冬セッションのみ、通年派遣は夏セッションと冬セッションを受講できる。

⑥ 演習科目
3回生演習については学生の申請に基づき、担当教員が履修の可否を判断する。

立命館アジア太平洋大学の情報は、立命館アジア太平洋大学のホームページで参照できます。なお、履修希望の科目シラバスは、履修ハンドブック（2017年度カリキュラム）を確認の上、履修希望の科目名称をシラバスに入力し、確認してください。各セメスターのシラバス公開は該当セメスター開始の約1か月前ですが、過去年度のシラバスを参照できます。

これらの情報をもとに、履修希望科目について各自、検討してください。

■立命館アジア太平洋大学のホームページ

http://www.apu.ac.jp

■APU履修関連ホームページ（2017年度カリキュラムを選択してください）

http://www.apu.ac.jp/academic/

履修ハンドブック、シラバスへのリンクがあります。

■履修ハンドブック「2.カリキュラム」開講科目一覧（PDF88ページから95ページ）

http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0260.html/

https://www.apu.ac.jp/pageview/academic_handbook_2021_J/html5.html#page=95

■シラバス

https://portal2.apu.ac.jp/campusp/slbsskgr.do

１２．住居

立命館アジア太平洋大学の学生寮（APハウス3もしくはAPハウス4）を利用できます。寮費は、下表の通りです。学生寮への入寮を希望する場合は、出願票に希望順位を明記してください。派遣許可発表時に、入寮の可否を合わせて発表します。
寮費は派遣開始前に、一括で納入（振込）していただきます。

【寮費（入寮期間：2022年9月中旬～2023年2月中旬の5ヶ月間）】

	APハウス3	APハウス4
月額	¥28,000 （住居費¥21,000、共益¥7,000）	¥49,000
入寮費	不要	¥33,000
5ヶ月分	¥28,000×5ヶ月＝¥140,000	¥49,000×5ヶ月=¥245,000
合計	**¥140,000**	**¥278,000**
備考	電気使用量は別途実費	電気使用量を含む

※入寮期間を超過して退寮する場合、1ヶ月分の寮費が必要となります。又、入寮期間満了前に退寮する場合、寮費は返金しません。注意してください。

【APハウス3】
オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで10分、亀川商店街まで約5分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。APハウス3の設備等、各情報に関しては以下のスチューデント・オフィスのウェブサイトスチューデント・オフィスのウェブサイトを確認してください。部屋の間取り図や写真も確認できます。
https://www.apu.ac.jp/studentsupport/page/content0228.html/

〒874-0013　別府市古市町25組
最寄りバス停：関ノ江海水浴場前　徒歩5分
※電気使用量（7,000円程度/月）は別途、実費を支払う必要があります。
入寮日の前日までに九州電力と入寮者が直接契約をすることになります。
手続きの詳細は内定者ガイダンスで説明します。

【APハウス4】
オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで30分、別府駅まで約10分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。APハウス4の設備等、各情報に関しては以下のスチューデント・オフィスのウェブサイトスチューデント・オフィスのウェブサイトを確認してください。部屋の間取り図や写真も確認できます。
https://www.apu.ac.jp/studentsupport/page/content0310.html/

〒874-0926　別府市京町11-8
最寄りバス停：京町　徒歩3分
※電気代は住居費に含まれます。

１３．奨学金

「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」（以下、チャレンジ奨学金）
この奨学金は、参加費用の一部を補助することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する制度です。本プログラム派遣者のうち「海外留学チャレンジ奨学金」に申請した方に奨学金を支給します。

（１）本奨学金の申請方法について
本奨学金の募集案内を派遣者ガイダンス時に配布します。

（２）支給額・支給時期・支給方法
2022年度秋学期派遣者の支給額、支給時期、支給方法は以下を予定しています。
詳細は本奨学金の募集案内にてご案内します。

支給額	現地渡航の場合　：　15万円 ※オンライン派遣へ変更となった場合は改めてご案内します。
支給時期	2022年10月以降に振込予定（現地渡航確認後に支給）
支給方法	本人名義の銀行口座へ振込む方法で支給

（３）受給にあたっての注意点
①学内・学外諸機関・団体等による奨学金を別途受給している、あるいは受給することが予定されている場合は、本奨学金に申請する前に衣笠学びステーション（APU国内交流プログラム担当）まで相談してください。本奨学金との併給ができない場合があります。

②受給者が次の項目のいずれかに該当したときは、支給決定の全部または一部を取り消すことがあります。この場合において、既に支給した奨学金の全部または一部の返還を求めます。
・留学プログラムへの参加を中止、または期間が変更されたとき。
・出願書類等への虚偽の記載等の不正の事実が判明したとき。
・この奨学金の支給の要件を満たさなくなったとき。

③本プログラム（現地渡航）が催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合（オンライン留学への変更を含む）は、支給の有無、支給金額等が変更となります。予めご了承ください。その際は改めてご連絡します。

１４．APUでの学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。

１５．辞退

許可発表後の辞退は認められません。

Ⅱ．出願について

１．出願資格

以下の①～⑤の条件を満たすこと。

① 法学部、産業社会学部、国際関係学部（国際連携学科を除く）、文学部、経済学部、理工学部（環境都市工学科 2018～2021 年度入学者を除く）、スポーツ健康科学部、生命科学部、薬学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部の所属学生であること。

② 国内交流派遣の開始時までに少なくとも 1 学年の学修を終了していること。
ただし、派遣時において卒業該当回生でないこと。

③ 修得単位数が、出願時点までに学修が終了している在学学期×16 単位以上であること。

④ 出願時までに配当されている「卒業に必要な外国語科目」を全て修得していること（政策科学部は該当する外国語科目なしのため、本要件の対象外）。

⑤ 既に本プログラムに派遣されたことがある者は、出願できない。

【注意】

※ 出願書類不備がある場合や、提出期限を過ぎている場合は一切受け付けません。

※ 留学中、休学中の場合でも出願可能ですが、面接などの必要な手続を行えることが条件です。

２．出願期間

5 月 23 日（月）～5 月 30 日（月）9:00【厳守】

３．出願書類提出先

衣笠学びステーションの以下の宛先にメール提出（出願書類データ一式を添付）

＊メールのタイトルは「2022 年度 APU 国内交流プログラム応募（氏名）」としてください。

＊添付資料は PDF 形式で提出してください。また、ファイルのタイトルは「【所属学部名】学生証番号_氏名」としてください。
（例：【法学部】12345678901_立命太郎）

＜宛先＞
衣笠学びステーション　APU 国内交流プログラム担当
Email：apu-tank@st.ritsumei.ac.jp

４．提出書類

① APU 交流学生出願票

② 言語運用能力を示す書類（TOEFL、TOEIC、IELTS、CASEC スコア等）のスクリーンショット

※スコアを紛失した場合は、出願票の「学内受験テストスコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新のテストスコアが選考の際に使用されます。

③ CAMPUS WEB「履修状況確認」ページ内「履修状況一覧」「科目一覧」「GPA」画面のスクリーンショット

④ manaba+R「コース一覧」（時間割表）のスクリーンショット

⑤ 保護者・監督者等の同意書（要直筆サイン）

５．選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPA および面接によって選考します。面接の日程については所属学部より本人宛に連絡します。

６．許可者発表

発表日時：6月29日（水）13：00
許可発表：manaba+R(個人宛のお知らせ)にて発表

７．派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。原則として欠席は認めません。

日時：7月15日（金）18:10～
実施方法：オンライン（Zoom）実施　※URL等の詳細は、許可発表時に対象者に通知

８．出願にあたっての注意

ほかに履修しているプログラム等がありましたら、必ず、応募前にそのプログラムを管轄する事務室で、APU交流参加を希望している期間の履修について確認を行ってください。APU交流と各種プログラムとの両立については、十分な履修計画が必要となりますので、事前に所属学部事務室およびプログラムを管轄する事務室にご相談ください。

【教職課程履修者】

APU派遣中は、教職課程の科目を履修することができません。教職課程では、各回生で履修すべき科目が配置されていることから、派遣期間によっては、4年間で免許状取得に必要な単位が修得できない場合があります。出願する前に、必ず教職教育課および所属学部事務室に相談してください。

＜問い合わせ先＞
衣笠学びステーション（APU国内交流プログラム担当）

衣笠キャンパス学而館1F
Email：apu-tank@st.ritsumei.ac.jp
TEL　：075-465-7865